副作用症状の重篤化回避

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益(副作用、相互作用、治療効果不十分など)を回避 あるいは軽減した事例を意味します。今回は、他職種と連携し、患者の副作用症状を 収集することで、副作用症状の重篤化回避に貢献できた事例のプレアボイドを紹介いたします。

患者背景

▶肺アスペルギルス・右続発性気胸で入院となった患者

【持参薬】ピレスパ[®]錠(200 mg) 1 回 1 錠 メトクロプラミド錠(5 mg) 1 回 1 錠 1 日 3 回毎食後

1日3回毎食後



Ηさん



Hさんですが、お薬のことで不安があるみたいです。 副作用について心配されているようですので、面談 をお願いできないでしょうか。

わかりました。ありがとうございます。



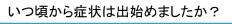
H さんこんにちは。

お薬のことで何か心配事があるとお聞きしたのですが、 どうされましたか?





そうなんよ。なんか足がむずむずして落ち着かんような感じが あるんやけど、薬は関係ないやろか?





この2週間くらいかな。

それはお辛いですね。 薬の副作用も視野に入れて、主治医と相談してみますね。



Hさんのアカシジア様症状について、主治医と相談した結果、 ピレスパ®の副作用予防として内服していたメトクロプラミド を中止する方針となりました。

今のところ、嘔気は出ていないようですが、メトクロプラミドの 中止後に嘔気が出現するかもしれませんのでご注意ください。





わかりました。よろしくお願いします。

メトクロプラミド錠の中止後、嘔気の出現もなく、ピレスパ[®]錠の内服を継続できた。 副作用症状と薬剤との因果関係を考察することで、副作用の重篤化を防ぐことができ、 ADL の向上及び適切な薬物治療に貢献できた。